

味噌を作りました

味噌作り

＜2月にこんなことをしました＞



重石の煮沸とバラシ



出来上がって笑顔のおふたり



出来上がり直前



煮大豆をつぶす



潰した大豆と塩・麴を混ぜる



塩と麴を混ぜる

味噌を作りました

2月21日今年は何だとも味噌作りを希望される方がおられないのかなあと感じていた所、おふたり参加して下さいました。嬉しかったです。

きっかけは

おひとりの方はお母

さんがずっと味噌を作っておられ、それをご自分もやってみたくて言われました。

私は今より30年余り前、レシピを見ながら家で小学生の子どもに大豆を潰すのを手伝ってもらって作りました。夜遅くまでかかって。余り自信がなかったですが、美味しかったです。カビもありましたが、今では毎日、味噌汁と共に始まります。

16回目の講習会でした

2009年6月にまるごと館を始める時に

味噌作りを必ず教えてもらおうと決めていました。

2010年2月3人の講師の方に来ていただき、参加希望者は12人も。でも大豆の煮方が足りないと4人が見物

いつも書きながら思っていたのは水俣病と私の関係です。◆チツソは1982年にはメチル水銀を流し始め、水俣病が公式確認されたのが1986年でした。国が認めたのは1988年、経済成長にとって必要なものとして12年もの間チツソの排水を容認していたんです。◆「男ももの木に登るときや、山の神さんに、いただきますしやすちゆうて、ことわつて登らうぞ」父の声がずうと耳についてくる。『樺の海の記』。石牟礼道子さんは小さい頃より自然の豊かな水俣で遊び育てきました。その内詩を書くように。生類魚、ネコ、鳥、ひとが傷つき死んでゆくのを黙っておられなかった。書くという行為で、自分の外に出さないこととまてゆく。患者宅を訪ね、患者と共に苦しみ、チツソや県・国との交渉の場にも共に行動しました。そんな中で「草界浄土」は書かれました。彼女はインタビューに「こたえて」「書かせるんです。あの人たちが」「一言も自分のことを人様に語ることがない人々がいることが日に日に深まって、書けば書くほど辛くなってやめることが出来ない」と◆お金を出せばそれで事足りるという会社、行政の姿勢に対して、患者の方々は以前のように貧しくてもどかな生活がしたい、お金が欲しいのではない。何しろ「子供のいのち年間三万円、大人のいのち十万円。死者のいのち三十万円」(1989年12月見舞金契約書)ですから。厳しい患者認定基準を設けて◆昨年12月水俣京都展がありました。以前の欄で書いた杉本肇さんの講演を。小学校45年の頃、両親が水俣病で何か月も入院、子ども5人、他に知られないように生活をしてきたことや現在水俣病の語り部をしていること等を話されました。少し近づけた気がして嬉しかったです◆「草界浄土」は中々読み進められない、読んでストップしての繰り返しですが、時間と共に深まってくるように思います。水俣病はまだ終わってはいません。水俣に寄り添うよりか私

水俣病7



混ぜた後30分置く



バラシを切って濃厚食塩水で拭く



容器に仕込む



バラシを敷く



重石をのせる

人になりました。私もその内のひとりでした。その時にビール瓶や重石用の石も集めてきました。大きなボールや鍋も徐々に揃えて、2020年まで講師に来ていただき、コロナ禍以降は館で私が手伝うことで続けてきました。

こだわる所は

毎年使い捨て時代を考える会からの手前みそのレシピを参考にしています。以前講師の方が、色々試したけれど、この方法(容器に仕込んだ後、その上に濃厚食塩水で拭いたバラシと熱湯消毒した小石を乗せる)が一番いいと言われました。時間と共に発酵液(たまり)が上がってきます。それを瓶にくんで料理に使います。他に身近な所では酒粕を乗せる

方もいらっしゃいます。ネットで気になるのは味噌の上にラップを敷く方法です。10カ月くらいかけて発酵するものの上にラップを敷きっぱなしでラップの成分が溶けてこないかと心配になります。容器についてもです。便利になった今、気を配らないということが起こるかわかりません。

楽しかったです

手間が効かりましたが、その手間さえも楽しそうに過ごされた時間でした。12月頃には食べられます。

八幡まるごと館だより

2025年3月8日/184号

＜発行＞八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

パソコン教室



10日 パソコンで確定申告をされたり、Word で表の挿入をして月毎のカレンダーや色々書き込まれていました。使わないと忘れてしまいますね。何でもそうですが、参加者の方々が趣味を共有されるのもいいものですね。

オカリナひまわり



休憩時には話が終わらないくらい盛り上がっています。だから、コロナ禍が

10日 この日は町内での演奏会の1週間前の練習でした。中々そろわなくて何度も何度も練習しました。年間通して毎週1回まるごと館に通って来て下さっているからか

ありましたが、10年も続いているんですね。互いにフォローし合って。

オカリナ町内演奏会



演奏の機会を頂けるのが嬉しいです。また他からも声かけいただいています。

17日 町内に招かれてでかけたのはこの日を含めて8回目でした。2018年は3月と11月の2回も。まるごと館だけでなく演

絵手紙講習会



12日 10人の参加でした、野菜生産者の方々が水仙や菜の花、白梅や紅梅を持って来て下さいました。出来上がった絵手紙はまるごと館の壁面に飾っていますが、ひとりひとり夫々の描き方で面白いと思います。個人的には中々上達しません。森本玲子さんが来られる日を待ち望

んでいます。あたたかくなれば来られるのでは、と。

八幡の歴史



を沢山捻出させようとしたんですね。開発していった川沿いの木を切ったら土砂崩れがたくさんあったそうです。そこで木の柵は残すようにとのお触れを出したそうです。出口さんのお話の中に銀納という言葉がありました。江戸時代、領主は年貢を米で徴収しましたが、その内今と同じようにお金で徴収されるようになったんですね。

14日 出口修さんは前回に続き美濃山新開の話をして下さいました。美濃山は埋蔵文化財の宝庫と言われています。江戸時代徳川吉宗によって行われた享保の改革によって、それまで不発だった新田開発が取り込まれ、年貢

八幡まるごと館 3月・4月の予定 休館 **3月3日(月)午後 3月10日(月) 3月31日(月) 4月3日(木)**

<パソコン教室> 3月3日(月)10時~12時 パソコンを持って来て下さい。費用200円(コーヒーつき) 毎週月曜日10時~12時です。
<映画上映会> 「ローマの休日」 100円 3月5日(水)13時~ 1953年グレゴリー・ペック、オードリー・ヘップバーン
絵手紙講習会> 描く材料があれば持って来て下さい。 3月12日(水)午後1時30分~ 森本玲子さん 200円(コーヒー付き)
<歴史を学ぶ 新八幡の歴史 N064> 3月14日(金)13時30分~ 講師出口修さん 参加費100円 月1回で
オカリナクラブ ひまわり> 楽しめる時に 参加費100円 3月3日は親睦会です 3月17日(月)13時30分~ 毎週月曜日、祝日はお休みです
<楽しい理科の実験 N060> 3月28日(金)13時30分~ 講師 木下章司さん 参加費300円(コーヒーつき)
<寄せ植えをしませんか>多肉直物です 4月2日(水)13時~ 講師 坂東貴代子さん 参加費500円(コーヒー付き) 持ち物 ハサミ、ピンセット、小さめの鉢、持ち帰り用袋

あんなことこんなこと

*今回の味噌作りの件です。お金を出して有機の味噌を買ってもこんな充実感はいられないでしょうね。それと味噌の材料となる大豆や塩や麴を大切に育てて出荷して下さいているからできることなんですね。自分で作ったらそんな気持ちも持てますね。また来年も作りましょう。
*オカリナひまわりで親睦会をしました。17人でワイワイと話がとどまることなく続きます。楽しい時間でした。皆様ありがと

うございました。オカリナをまるごと館で始められたのは平岡さんがボランティアでオカリナ演奏しての帰りに、まるごと館に寄って下さってからです。平岡さんに色々教わって初めは7人でした。安いオカリナをネットで見つけました。やりたいと言う方々がその月で18人にも。でもオカリナの穴を指でうまく押さえられないと多くの方がやめられ、練習は月1回から月2回にその内毎週に。その年の12月コンサートの前座では第九よろこびの歌を演奏しました。12人でひたすら練習したのを覚えています。

*まるごと館オープン時からお世話になっていた野菜生産者の方がなくなりました。花おくらを思い出します。オープンから16年も経ち高齢者ばかりですから。寂しいですが。(うえたに じゅんこ)